

18万3千トン型ばら積み運搬船「CAPE OASIS」竣工

当社は9月25日、伊万里事業所（佐賀県）で建造していた18万3千トン型ばら積み運搬船「CAPE OASIS」を引渡しいたしました。

本船は、CSR規則を適用した18万3千トン型ばら積み運搬船シリーズ3船目となります。



<特長>

- (1) 主要寸法はフランスのダンケルク港へ入港可能な最大サイズ“DUNKIRK MAX”を志向している。
- (2) 当社独自開発の『Namura flow Control Fin (NCF)』および『舵付きフィン (Rudder Fin)』を装備し、推進性能を向上させ燃料消費量の低減を図っている。更には最新型の高効率プロペラを採用し、燃料消費量の低減を図っている。
- (3) 主機関および主発電機関には、IMO MARPOL Annex VIに適合した低NOx機関を採用しており、更に低硫黄燃料油対策を考慮したF0タンク配置やエア式船尾管シール装置を採用し、環境に配慮した構成としている。
- (4) 機関部冷却システムには、セントラル清水冷却方式を採用し、船内メンテナンス作業の低減を図っている。
- (5) 港湾内の汚水排出規制を考慮し、生活排水や雨水およびホールド洗浄水の船外排出を適切に管理すべく、汚水等の貯蔵タンクを装備している。
- (6) バラスト水管理条約の発効に伴い、IMO承認に基づくバラスト水処理装置を搭載しており、バラスト水を制御することで海洋環境の保護に努めている。

<主要目>

全長	291.99 m
幅 (型)	45.00 m
夏季満載喫水 (型)	18.20 m
総トン数	93,452 総トン
載貨重量	183,049 重量トン
主機関	MAN B&W 6G70ME-C9.5 1基
定員	25名
船級	日本海事協会 (NK)
船籍	パナマ

以上